

豊能町成人式

「はたちのつどい」

1月13日、ユーベルホールにおいて豊能町成人式を開催しました。当日は、スーツや色鮮やかな振袖に身を包んだ新成人133人の出席があり、大人への新たな一歩を踏み出しました。

また、会場では久しぶりにあう旧友とともに写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせたりする姿があちらこちらで見られました。



「新成人のごとば」

かわひと つきのすけ
川人 月之介さん



本日は、成人を迎えた私たちの門出に際し、このような盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。

また、町長をはじめ、ご来賓の方々、ご臨席いただいております関係者の皆様方から、温かいお祝いの言葉をいただき、新成人を代表いたしまして、心から感謝申し上げます。

私は、幼少の頃から少林寺という「武の道」に身を置いて参りました。少林寺には「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」という言葉、教えがあります。「自分の幸せを本当に考えるのであれば、相手の幸せも本気で考えられる人になりなさい」、「困っている人、助けを求める人に手を差し伸べられる力をつけなさい」と。□で言うことはとても簡単なことですが、この教えを実践することの難しさを今痛感しております。

さて、私は、この門出の日にとつだけ心残りなことがあります。それは、この会場に来て共に祝つはずの友人がこの場に居ないことです。彼の名は、勇村紳也といいます。私の大切な親友の一人です。2018年7月3日、彼は仕事場で不慮の事故で他界してしまいました。

人は皆、生きているのではなく、生かされている、かけがえのない命であることを、この成人の日に心に刻み、これからの人生を強く生き抜いていくことを宣言すると共に、身体を父母より得たることを感謝し、精一杯、生きたいと思います。

最後に、本式典の開催にあたり、ご尽力いただき

ました関係各位の皆様にご心から感謝申し上げますと共に、今日この日がすべての新成人にとって、またそのご家族にとっても、新しい、素晴らしい門出になることを願って、新成人の代表の挨拶とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。



「新成人のごとば」

さかくち ゆか
坂口 裕佳さん



本日は、成人を迎えた私たちの門出に際し、このように盛大なる式典を催していただき、誠にありがとうございます。町長をはじめ、たくさんの方々にご臨席賜り、お祝いいただけますことをとても嬉しく思います。新成人を代表し、皆さまに心より感謝申し上げます。

さて、私は豊能町の東地区に生まれ育ち、ひと学年40人余りの仲間と小中学校時代をともに過ごしました。少人数ということもあり、先生と生徒との距離が近く、また、保護者や地域の方々にも温かく見守っていただきました。高校は都会にあり、生徒数もひと学年300人以上という大人数の中、楽しい高校生活を送りました。様々なことに優れた友達に

出逢い、たくさんの刺激を受け、人間的に大きく成長させてもらえたように思います。そして、大学に進学し、幼い頃から漠然と教師になりたいと考えていた私でしたが、大学のオープンキャンパスに行ってみて考えが少し変わりました。私は現在、大学で、教員養成系学部ではなく、人間科学部に所属しています。人間科学部とは平たく言いますと人間を科学する学部です。私の大学では、人間科学部は行動学、教育学、社会学、共生学の4つの学系に分かれており、私はその中の教育学系に進む予定です。ここは教育を学問として学ぶ所で、「教育システム・学校文化に関する社会学的研究」や「地域の教育力、学校と地域の連携・協働に関する研究」を扱っています。それらは私が教育において興味を持っていたことと合致しており、私の進む道はここだと確信しました。多種多様な文化や価値観が存在する現代において、社会は複雑化し、教育のあり方も変容しています。そのような時代であるからこそ、従来の形にとらわれず、学校だけでなく社会全体で教育を営むことが必要だと考えます。将来は、学んだことを活かしながら、目の前の子ども達と向き合い、より良い教育の実現に貢献する仕事に就きたいと思っています。

「人は出会いによって成長する」と言われます。本日成人式という人生の大きな節目を迎えるにあたり、今まで私達を温かく見守り、支えて下さった地域のみなさま、先生方、そして両親に改めて感謝するとともに、その出会いからいただきました温かい心を基盤にして、今後また皆さんの人との出会いによって自分を高め、大人としての自覚を持ち、前に進んでいく所存です。

最後になりましたが、今後ともよろしくご指導賜りますようお願いをいたしまして、簡単ではございますが、新成人代表の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



「新成人謝辞」

まんもと ちえり
萬本 千愛理さん



本日は、成人を迎えた私たちの門出に際し、このような盛大な式典を催していただき、まことにありがとうございました。町長をはじめ、ご来賓の方々、そしてお忙しい中ご出席いただきました皆様に、成人を代表し、心より厚くお礼申し上げます。

この20年間、多くの人と出会い、時には泣き、時には笑い様々な経験をし、今日、成人という大きな節目を迎えることができました。ここまで私たちが成長できたのは、私達を見守り支えてくれた家族や様々なことを教え導いてくださった先生方、そして幼いころから温かく見守ってくださった地域の皆様のおかげであることを深く感謝し、ご挨拶を申し上げます。

さて、昨今の日本では、ラグビーワールドカップが開催され、日本代表は8強入りをし、多くの人が心を動かされ、日本全体が熱くなりました。そんな中、日本に大きな被害を及ぼした台風19号の影響で予定されていたラグビーの試合が中止になり、被害の一

報を聞いたカナダの代表選手が、翌日ボランティアとして清掃活動に取り組んだという感動的なニュースがありました。私は、このニュースを聞いて、人の思いやりの心というのは世界共通であり、お互い助け合うことで、一人でも多くの人を笑顔にできるのだと思いました。また、現実から目を背けるのではなく、新成人として今何ができるのかを考え、他人に対し思いやりの心を持って行動できるような大人になりたいと思います。

今私たちは、職に就き働いている人や勉学に励んでいる人など、それぞれ異なる道を歩んでいます。新たな時代「令和」となった今、苦楽を共にし、一緒に歩んできた仲間とともに、社会に貢献していくことで、今までお世話になった方々に少しでも恩返しをしていきたいと思っています。

まだまだ未熟な私たちですが、この自然豊かな豊能町で育ち、学んだことを忘れず、一人の大人として責任を持ち、自ら選んだ道を突き進んでいきたいと思っています。今後とも皆様にはご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、これをもちまして新成人代表のお礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

